

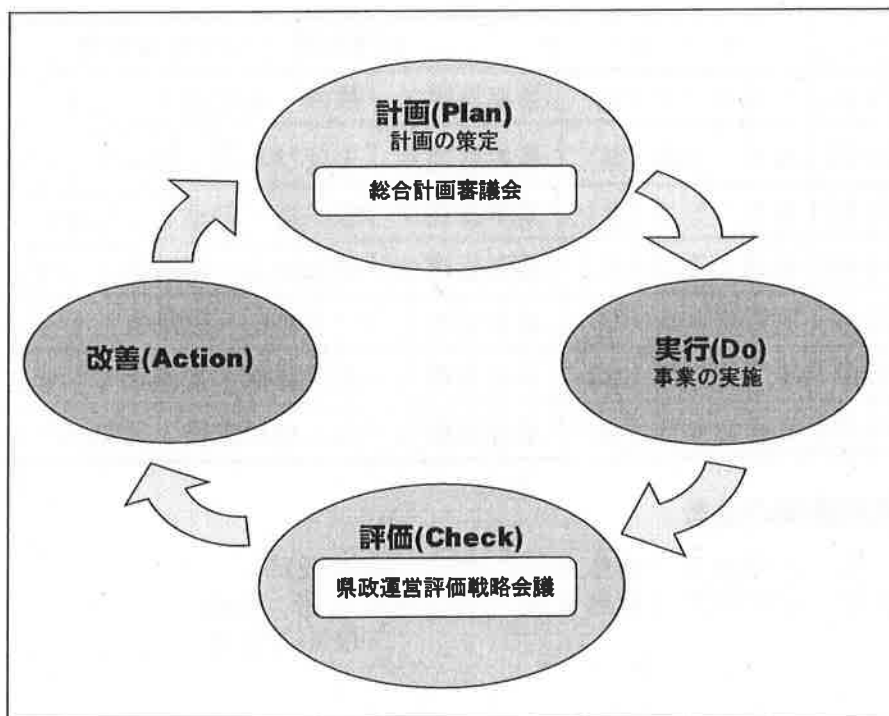
「いけるよ！徳島・行動計画」評価結果の概要

1 県政運営評価戦略会議について

行動計画の評価については、県民目線からのチェック機能の強化を図るため、行動計画の策定・推進から評価までを担っていた「徳島県総合計画審議会」（以下「審議会」という。）の評価部門を切り分け、平成23年10月から、新たに設置した第三者機関である「県政運営評価戦略会議」（以下「戦略会議」という。）において実施している。

この戦略会議で議論された評価結果は、審議会に提言され、新たな総合計画である「新未来『創造』とくしま行動計画」の見直し、さらには徳島発の政策提言にもつなげていくこととしている。

また、戦略会議においては、「とくしま目安箱」や「わくわくトーク」などに寄せられた県民からの意見・提言について、優れたものを選定し、審議会に提言することにより、県民意見の県政への積極的な反映を図る役割も担っている。



2 評価方法について

(1) 評価対象

「いけるよ！徳島・行動計画」に位置付けられた全ての主要事業（750事業）を対象とした。

(2) 評価の視点

「いけるよ！徳島・行動計画」の平成23年度から平成26年度までの4年間の計画期間が終了したことから、この期間の取組内容や成果を総合的に勘案して評価を行う、総括評価として実施した。

(3) 評価基準

- A：成果が上がっている・・・数値目標等が達成されるとともに、これまでの取組により成果が十分に上がっているもの
- B：相当程度成果がある・・・数値目標等がほぼ達成されているとともに、これまでの取組により相当程度の成果があるもの
- C：成果不足・・・数値目標等が達成されておらず、成果が不十分であるもの

(4) 評価手順

あらかじめ担当部局が作成した主要事業（事業概要）ごとの「評価シート」に基づき、戦略会議の委員の代表者が作成した「評価案」について会議の場で議論し、「評価結果」として取りまとめを行った。

○ 戦略会議の開催状況

	日 程	評価対象となる基本目標
第1回	7月31日(金)	基本目標2「経済・新成長とくしま」
第2回	8月5日(水)	基本目標6「まなびの ^{くに} 邦・育みとくしま」
第3回	8月5日(水)	基本目標7「宝の島・創造とくしま」
第4回	8月17日(月)	基本目標3「安全安心・実感とくしま」
第5回	8月20日(木)	基本目標1「にぎわい・感動とくしま」
第6回	8月26日(水)	基本目標4「環境首都・先進とくしま」
第7回	8月26日(水)	基本目標5「みんなが主役・元気とくしま」

○ 戦略会議の委員

会 長 石田和之（徳島大学大学院 准教授）
副会長 阿部頼孝（徳島文理大学短期大学部 教授）
ほか12名

3 評価結果について

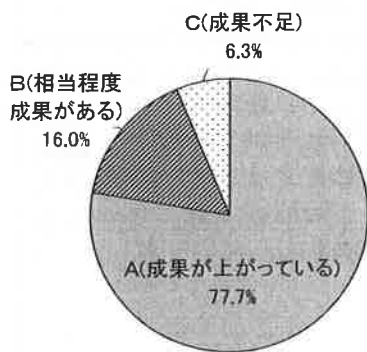
(1) 総括

「A（成果が上がっている）」と評価されたものが583事業（77.7%）、
「B（相当程度成果がある）」とされたものが120事業（16.0%）、
「C（成果不足）」とされたものが47事業（6.3%）となった。

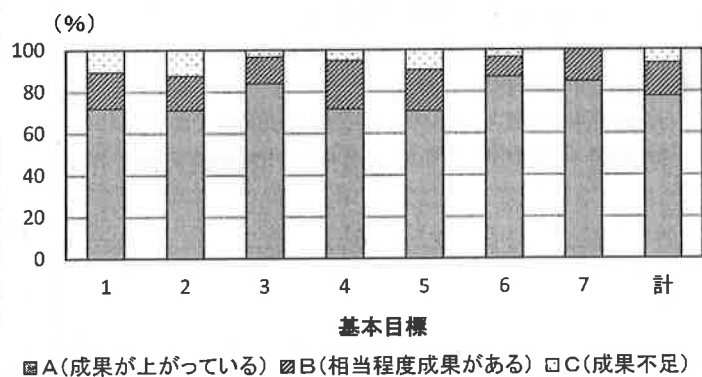
表－1 主要事業の評価結果

評価		基本目標							合計	比率
		1 にぎわい・感動 とくしま	2 経済・ 新成長 とくしま	3 安全安心 ・実感 とくしま	4 環境首都 ・先進 とくしま	5 みんなが 主役・元気 とくしま	6 まなびの 邦・育み とくしま	7 宝の島・ 創造 とくしま		
主要 事業	A 成果が上がっている	75	92	131	71	51	73	90	583	77.7%
	B 相当程度成果がある	18	21	20	23	14	8	16	120	16.0%
	C 成果不足	11	16	5	5	7	3	0	47	6.3%
	合計	104	129	156	99	72	84	106	750	100.0%

図－1 評価状況(全体)



図－2 評価状況(基本目標別)



【参考】表－2 「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」（平成19年度～平成22年度）の主要事業の評価結果

評価		基本目標							合計	比率
		1 「オープン とくしま」 の実現	2 「経済再生 とくしま」 の実現	3 「環境首都 とくしま」 の実現	4 「安全・安心 とくしま」 の実現	5 「いやしの国 とくしま」 の実現	6 「ユニバーサル とくしま」 の実現	7 「にぎわい とくしま」 の実現		
主要 事業	A 成果が上がっている	44	64	59	82	70	50	58	427	70.2%
	B 相当程度上がっている	14	26	18	29	10	16	37	150	24.7%
	C 成果不足	2	7	7	6	3	3	3	31	5.1%
	合計	60	97	84	117	83	69	98	608	100.0%

(2) 基本目標別 評価結果 (抜粋)
基本目標 1 にぎわい・感動とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●高速道路の利用促進 本四道路による地域間格差を解消するため、高速道路料金については、本四道路も含めて「全国共通料金制度」とするよう、その実現を目指し、本四道路が「夢の架け橋」となる取組を推進します。</p> <p>○「全国共通料金制度」の実現 [26]実現</p>	A	<p>徳島発の政策提言などにより、数値目標である全国共通料金制度が実現したことから、A評価とした。</p> <p>今後は、通行量の増加が徳島の活性化に繋がるよう、徳島の魅力を発信して欲しい。</p> <p>(・H26実績 実現)</p>
<p>●観光立県とくしまの実現 本四高速への全国共通料金の導入を見据え、県外からの観光入込客数、宿泊者数の増加を図るため、「おどる宝島!とくしま」を旗印に、県内の周遊や宿泊を促進する「おどる宝島!とくしまキャンペーン」の展開や「今」の旅行者のニーズに合わせたモデルコースや企画旅行商品の造成などにより、観光誘客対策を推進します。</p> <p>○年間の延べ宿泊者数 [21]166万人→[26]210万人</p>	A	<p>数値目標である年間の延べ宿泊者数が目標を大きく上回っており、また、宿泊者数の伸び率は、平成25年が全国第3位、平成26年が全国第1位と、取組の成果が十分に上がっていることから、A評価とした。</p> <p>(・H26実績 287万人)</p>
<p>●あわ文化の創造・発信 伝統産業で栄えるまちづくりを推進するため、「阿波藍×未来形プロジェクト」を継続実施します。</p>	B	<p>藍染めファッションショーや藍染手ぬぐい展示など様々な取組が見られるが、今後も、徳島の文化を支えるモチーフのひとつである阿波藍の魅力を広める取組を積極的に進めて欲しい。</p>
<p>●広域観光の推進 東アジア・東南アジアを重点エリアとし、海外と徳島阿波おどり空港間のチャーター便の誘致をはじめ、関西広域連合における広域観光の推進、徳島の魅力を活かした団体旅行及び個人旅行、教育旅行、医療観光など多様な外国人誘客を推進し、外国人宿泊者数の増加を目指します。</p> <p>○県内への外国人宿泊者数 (延べ人数) [21]12,560人→[26]50,000人 ○徳島阿波おどり空港へのチャーター便による外国人入込客数 [21] - →[26]15,000人</p>	C	<p>2つの数値目標に対して、実績が大きく下回っていることから、C評価とした。</p> <p>外国人誘客については、アジア圏だけでなく、ヨーロッパ圏なども視野に入れてはどうか。</p> <p>また、県西部での外国人宿泊者の増加を図るため、宿泊施設として古民家を更に活用してはどうか。</p> <p>(・H26実績 35,630人) (・H26実績 0人)</p>

基本目標2 経済・新成長とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●農林水産業分野における人づくり 農業の新たな成長分野を支える人材の確保に向け、県外都市部の農業系大学生に「実証フィールド」を提供し、本県農業・農村への理解を深めていただき、その魅力を全国に発信します。</p> <p>○都市圏の農業系大学生を対象とした就業体験者数（累計） [21] - →[26]110人</p>	A	<p>数値目標である都市圏の農業系大学生を対象とした就業体験者数が目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>今後は、就業体験者の中から一人でも多く本県で就農してもらえるよう、しっかりと徳島の農業をPRして欲しい。</p> <p>(・H26実績 114人)</p>
<p>●農商工連携の促進 徳島ならではの地域資源による「とくしまブランド」の活用や、本県の豊富で良質な農林畜水産物と中小企業が有する高いものづくり技術等を連携させ、農商工連携による新商品開発などを促進します。</p> <p>○農商工連携による商品開発事業数（累計） [21]41件→[26]100件</p> <p>○新商品等の開発事業数（累計） [21] - →[26]50件 など4目標</p>	A	<p>農商工連携による商品開発事業数など、4つの数値目標が、全て目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>(・H26実績 111件) (・H26実績 58件)</p>
<p>●障がい者の職業的自立支援 「徳島県障がい者の雇用の促進等に関する条例」に基づき、職業訓練の実施及び充実など、障がい者の職業的自立を支援する体制づくりを目指すとともに、障がい者雇用に関するネットワークを構築し、障がい者の雇用の拡大を図ります。</p> <p>○民間企業の障がい者雇用率（H18対比増加幅） [21]全国2位→[26]全国1位</p> <p>○民間企業の障がい者雇用率 [21]1.61%→[26]2.00%（法定雇用率） など4目標</p>	B	<p>数値目標のうち民間企業の障がい者雇用率自体は、わずかながら目標に達していないものの、雇用率のH18対比増加幅は全国1位となったことから、B評価とした。</p> <p>(・H26実績 全国1位) (・H26実績 1.90%)</p>
<p>●「もうかる農林水産業」の推進 地域の農林水産業の振興に大きな役割を担う関係団体の合併等を推進し、機能強化を図ります。</p> <p>○農業協同組合数 [21]16組合→[26]1組合</p> <p>○森林組合数 [21]11組合→[26]5組合</p> <p>○漁業協同組合数（沿海） [21]35組合→[26]1組合</p> <p>○農業共済組合数 [21]3組合 →[26]1組合</p>	C	<p>4つの数値目標のうち農業共済組合数は目標を達成しているものの、他の3つの数値目標に対しては、実績が大きく下回っていることからC評価とした。</p> <p>(・H26実績 15組合) (・H26実績 10組合) (・H26実績 33組合) (・H26実績 1組合)</p>

基本目標3 安全安心・実感とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●救命救急医療体制の充実 「総合メディカルゾーン」を拠点に、ドクターヘリを導入し、関西広域連合におけるドクターヘリ及び消防防災ヘリとの相互補完を図り、全県下における救急患者の救命率の向上を図ります。</p> <p>○徳島県に「ドクターヘリ専用機」の導入 [24]導入・運航</p> <p>○関西広域連合における「ドクターヘリ共同運航」の開始 [24]開始</p>	A	<p>県立中央病院を基地病院として運航している徳島県ドクターヘリを含め、関西広域連合では、5機による一体的な運航体制を構築している。また、消防防災ヘリとの相互補完を図り、二重・三重のセーフティネットを構築していることから、A評価とした。</p> <p>(・H24実績 導入・運航)</p> <p>(・H24実績 開始)</p>
<p>●食品表示の適正化 産地偽装など食品の不適正表示の未然防止を図り、食品表示の適正化を推進するため、監視体制の充実強化を図るとともに、食品表示に関する啓発を推進します。さらに「食の安全安心推進条例」を改正し、食品表示の適正化の強化を図ります。</p> <p>○とくしま食品表示Gメンの立入調査事業者数 [23] - →[25]~[26]120事業者/年 など3目標</p>	A	<p>とくしま食品表示Gメンの立入調査事業者数など3つの数値目標について、全て目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>(・H25実績 137事業者/年)</p> <p>(・H26実績 124事業者/年)</p>
<p>●地域防災力の強化 市町村が実施する自主防災組織の結成促進と活動活性化の支援、地域防災推進員の養成、県民の「津波避難意識」の向上を目的とした防災出前講座の開催など地域防災力の強化・促進を図ります。</p> <p>○自主防災組織率 [21]83.7%→[26]100%</p> <p>○市町村単位の自主防災組織連絡会の結成 [21]8市町村→[26]全市町村(24市町村) など5目標</p>	B	<p>5つの数値目標のうち自主防災組織率及び自主防災組織連絡会の結成市町村数が目標を下回っているものの、自主防災組織率については、全国第4位(全国平均80%)と健闘していることから、B評価とした。</p> <p>(・H25実績92.7%(H25目標96%) H26実績は集計中)</p> <p>(・H26実績 14市町村)</p>
<p>●災害時等における初動体制の充実等 携帯電話を活用した安否確認サービス「すだちくんメール」を提供し、災害時に地域住民が相互に安否情報を共有できる体制を構築するとともに、企業や自治体が職員の参集情報を共有できる体制を構築し、災害の迅速な初動体制の確立を図ります。</p> <p>○すだちくんメール登録者数(累計) [21] - →[26]30,000人 など2目標</p>	C	<p>数値目標のうちすだちくんメール登録者数が目標を達成しておらず、また、本年2月に県南部で震度5強の地震が発生した際にも「すだちくんメール」の機能が十分に発揮されなかったことから、C評価とした。</p> <p>(・H26実績 25,932人)</p>

基本目標 4 環境首都・先進とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●地球にやさしい生活・社会活動の推進 運輸部門における温室効果ガス排出量を削減するため、産学民官が連携・協働して、電気自動車やプラグイン・ハイブリッド車等の次世代自動車に関する普及方策を決定し、その普及を図ります。</p> <p>○普及方策の決定 [23]決定</p> <p>○県内「急速充電設備（エコスタンド）」設置数（累計） [21]1基→[26]15基</p>	A	<p>普及方策が決定されるとともに、数値目標であるエコスタンドの設置数が43基と目標を大きく上回っていることから、A評価とした。</p> <p>(・H23実績 決定) (・H26実績 43基)</p>
<p>●間伐等による健全な森林の整備 「健全な森林」「豊かな森林」をつくるため、間伐や針広混交林・複層林への誘導、広葉樹林の整備を推進します。</p> <p>○間伐実施面積（累計） [21]36千ha→[26]61千ha</p> <p>○針広混交林・複層林の誘導面積（累計） [21]12,537ha→[26]20,000ha</p> <p>○広葉樹林の整備面積（累計） [21]501ha→[26]1,000ha</p>	A	<p>3つある数値目標を全て達成しており、また、国の補助事業を積極的に活用し、間伐の推進や広葉樹林の整備などに取り組んだ結果、多様で豊かな森林の整備が図られるなど、十分に成果が上がっていることから、A評価とした。</p> <p>(・H26実績 61千ha) (・H26実績 21,000ha) (・H26実績 1,002ha)</p>
<p>●きれいな水環境づくりの推進 公共用水域の水質保全のため、適正な浄化槽の維持管理に係る普及啓発を実施するとともに、浄化槽維持管理一括契約制度の取組を強化します。</p> <p>○浄化槽法定検査受検率 [21]40.5%→[26]55.0%</p>	B	<p>数値目標である浄化槽法定検査受検率は目標を達成しているものの、法律で義務付けられた検査であり、公平性の見地からも、受検率は100%を目指すべきではないか。</p> <p>(・H26実績 56.1%)</p>
<p>●環境関連産業の育成 リサイクル製品・3Rモデル事業所・エコショップ等の認定・普及を図ります。</p> <p>○リサイクル製品の認定数 [21]34製品→[26]60製品</p> <p>○3Rモデル事業所の指定数 [21]23事業所→[26]40事業所</p>	C	<p>2つの数値目標に対して、実績が大きく下回っていることから、C評価とした。</p> <p>目標達成に向け、更に積極的な取組を求める。</p> <p>(・H26実績 45製品) (・H26実績 34事業所)</p>

基本目標5 みんなが主役・元気とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●次代の子育てを担う者の育成 徳島の未来を担う若者が、徳島県の現状や人口減少社会の到来など新たな時代潮流について学習したり、結婚や子育てを含む自らの将来について語り合う機会を通じて、徳島の未来に積極的に関わっていきけるよう「若者未来創造塾」を開講します。</p> <p>○「若者未来創造塾」の開講 [23]開講</p> <p>○「若者未来創造塾」の参加者数(累計) [21]ー→[26]140人</p>	A	<p>数値目標である「若者未来創造塾」の開講及び参加者数が、目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>今後は、塾生である若者の意見を、徳島の活性化につなげて欲しい。</p> <p>(・H23実績 開講) (・H26実績 146人)</p>
<p>●発達障がい者(児)への支援 発達障がい者(児)の自立と社会参加の促進を図るため、「発達障がい者総合支援ゾーン」において、医療・教育・労働の各機関と連携を図りながら、発達障がいの理解促進のための啓発事業の一層の充実と、地域の実情に応じた支援体制構築や地域支援の核となる人材育成の強化など、各種施策を推進します。</p> <p>○「発達障がい者総合支援センター」の相談件数(累計) [21]1,893件→[26]10,200件</p> <p>○「発達障がい者総合支援センター」の就労支援件数(累計) [21]69件→[26]2,600件</p>	A	<p>数値目標である「発達障がい者総合支援センター」の相談件数及び就労支援件数が、目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>今後とも、発達障がい者支援の専門機関として、発達障がい者の相談や関係機関との連携に努めて欲しい。</p> <p>(・H26実績 10,762件) (・H26実績 3,054件)</p>
<p>●「生涯現役」の「元気高齢者づくり」の推進 県健康福祉祭等の充実により、高齢者のスポーツ及び文化活動の推進を図ります。</p> <p>○県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会の参加者数 [21]2,464人→[26]4,000人</p>	B	<p>数値目標である県健康福祉祭等のスポーツ及び文化交流大会の参加者数が、目標を達成していないものの、種目数を増やすなど参加者数増に向けた取組が見られることから、B評価とした。</p> <p>(・H26実績 3,689人)</p>
<p>●障がい者の自立支援の推進 障がい者に対する地域生活や就労について、より一層の支援を図るため、地域共同作業所の指定障がい福祉サービス事業者等への移行を推進します。</p> <p>○地域共同作業所の指定事業者又は地域活動支援センターへの移行件数(累計) [21]30件→[26]36件</p>	C	<p>数値目標である地域共同作業所の指定事業者又は地域活動支援センターへの移行件数の実績が伸びず、目標を大きく下回っていることから、C評価とした。</p> <p>(・H26実績 32件)</p>

基本目標6 まなびの^{くに}邦・育みとくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●活力と魅力のある学校づくり 小・中学校において、各学年等の特性に応じ、少人数学級編制の導入や専科教員(理科・英語等)の配置を推進するとともに、少人数グループ指導やティームティーチング指導のための教員配置を行います。</p> <p>○少人数学級(35人を上限とする学級編制)の拡大 [21]小学校1・2年生、中学校1年生で実施 →[26]小学校全学年、中学校1年生で実施 など3目標</p>	A	<p>少人数学級の拡大など3つの数値目標を全て達成していることから、A評価とした。</p> <p>今後も、児童・生徒に対するきめ細やかな指導体制の整備に努めて欲しい。</p> <p>〔・H26実績 小学校全学年 中学校1年生で実施〕</p>
<p>●人材育成・支援体制の整備 県審議会等委員への若者の登用を進め、若者の政策・方針決定過程への参画を促進します。</p> <p>○「県審議会等委員に占める若年者(40歳未満)」の割合 [21]4.3%→[26]8.6%</p>	A	<p>数値目標である「県審議会等委員に占める若年者(40歳未満)」の割合が目標を達成していることから、A評価とした。</p> <p>(・H26実績 9.7%)</p>
<p>●安全・安心な学校づくり 学校施設を「よく・ながく」使い続けるために、耐震基準に適応した災害等に強い安全な学校施設の整備と耐震改修、エコ改修等を推進します。</p> <p>○県立高等学校施設耐震化率(再掲) [21]62%→[26]90%</p> <p>○市町村立小・中学校施設耐震化率(再掲) [21]64%→[26]95%</p> <p>○エコスクール化県立学校数(再掲) [21]3校→[26]全校展開</p>	B	<p>3つの数値目標のうち市町村立小・中学校施設耐震化率は目標を達成しているものの、2つの数値目標に対して、わずかながら実績が下回っていることから、B評価とした。</p> <p>エコスクール化については、「学校の内部が木質化すると、子供たちが大事に学校を使うようになった。」という話をよく聞くので、これからも積極的に取り組んで欲しい。</p> <p>〔・H26実績 88.2% ・H26実績 97.7% ・H26実績 38校(全校数45校)〕</p>
<p>●健やかな体の育成 学校保健の充実を図るとともに、学校・家庭・地域・専門機関と連携し、子どもたちの現代的な健康課題の解決に取り組みます。特に、望ましい生活習慣の定着を図り、児童生徒の肥満予防・肥満対策、生活習慣病予防対策を推進します。</p> <p>○肥満傾向児の出現率 [21]小・中・高の全年齢で全国平均を上回っている →[26]小・中・高の全年齢で全国平均以下</p> <p>○小・中・高の高度肥満の児童生徒数 [26]30%減少(平成21年度比)</p>	C	<p>2つの数値目標のうち、肥満傾向児出現率を全国平均以下にするという目標は、男子6歳しか達成しておらず、また、高度肥満の児童生徒数を30%削減するという目標も、実績が大きく下回っていることから、C評価とした。</p> <p>〔・H26実績 男子6歳平均以下 ・H26実績 20.9%減少〕</p>

基本目標 7 宝の島・創造とくしま

●主要事業名・事業概要・○数値目標	評価	評価意見・実績
<p>●人権教育・啓発の推進 県民一人ひとりの人権が互いに尊重され擁護される社会を築くため、「人権教育啓発推進センター（あいぼーと徳島）」を拠点として、様々な人権課題や人権全般について県民が気軽に学習や相談等ができる場を提供します。</p> <p>○「人権教育啓発推進センター」事業参加者・利用者数（累計） [19]～[21]42,915人→[23]～[25]65,000人 [26]23,000人</p>	A	<p>数値目標である「人権教育啓発推進センター」事業参加者・利用者数について、平成25年度までの目標を達成し、かつ、平成26年度も、目標23,000人に対して35,494人と実績が大きく上回っていることから、A評価とした。</p> <p>〔・H25実績 73,919人（累計） ・H26実績 35,494人〕</p>
<p>●移住・交流施策の推進 移住等に関する情報・魅力発信を行うため、地域の実情に柔軟に対応し、地域の創意工夫が活かせる総合的な支援を行う「移住交流支援センター」の整備や古民家・遊休施設を活用したサテライトオフィスの取組などを推進し、県と市町村が連携・協働した積極的な移住・交流の促進を図ります。</p> <p>○「移住交流支援センター」の設置地域数 [21]8地域→[26]14地域</p> <p>○県外からの移住者数（累計） [23] - →[26]180人</p>	A	<p>数値目標のうち、「移住交流支援センター」の設置地域数は平成26年度までに目標を達成できなかったが、本年4月に阿南市に設置されたこと、また、もうひとつの数値目標である県外からの移住者数が、目標を大きく上回っていることから、A評価とした。</p> <p>〔・H26実績 13地域 ・H26実績 236人（累計）〕</p>
<p>●四季を通じたにぎわいの創出 「マチ★アソビ」に新たなイベントを加え、拡大するとともに、新聞・テレビ・雑誌・WEBや衛星放送等あらゆるメディアを活用し、全世界への情報発信を強化します。</p> <p>○「マチ★アソビ」年間参加者数 [22]59,000人→[26]100,000人 など2目標</p>	A	<p>数値目標である「マチ★アソビ」年間参加者数が、目標を大きく上回っており、かつ、毎年新たな取組により、にぎわいを創出していることから、A評価とした。</p> <p>（・H26実績 127,000人）</p>
<p>●公正で公平な県政の推進 公平・公正な職務執行の確保のため、「コンプライアンス基本方針」に基づき、「職員倫理意識の徹底」を図ります。また、管理職員をはじめとする直近上司によるチェック機能を強化するとともに、職員間で倫理面やサービス面も気づきあえる風通しのよい職場づくりを進めるなど、組織としての対応力の強化を進めます。</p>	B	<p>全庁挙げてコンプライアンスの推進に向けた研修や業務改善に取り組んだ結果、一定の効果がみられることから、B評価とした。</p> <p>引き続き、不祥事の再発防止に向け、職員が一丸となって、取り組んで欲しい。</p>

4 県政運営評価戦略会議で採択された「県民からの優れた意見・提言」

	提言先	項目	意見・提言の内容
1	目安箱	持ち運び型防 暑遮光ハウス	炎天下での農作業用に、徳島県農業大学校が太陽光発電でミスト扇風機を稼働させる持ち運び型防暑遮光ハウスを開発試作したそうだが、農業用とともに子供たちの野外でのスポーツ用に試作実験できないか。
2	目安箱	照明の100% LED化	徳島県はLED先進県として全国、いや全世界の模範になるべく、照明のオールLED化を宣言してはどうか。少なくとも役所や公的機関で使用する照明のLED化を実行して、電気の節約ができないか。
3	目安箱	県内の棚田の 愛称を「ライス ガーデン」に	カンボジアやタイでは、棚田の周辺にカフェや飲食店、ホテルがある。 棚田の愛称を「ライスガーデン」として、美郷や上勝の棚田を世界に発信し、米を中心に徳島の食材が食べられる飲食店が棚田に集えればよいと思う。
4	目安箱	公共交通機関 利用促進のた めに	バスや汽車に自転車を乗せられるようにすれば、出発駅まで自転車で行くことができ、さらに着いた先から好きなところに自転車で行けるので、出勤するのにも汽車が利用しやすくなると思う。
5	目安箱	高齢者移住を 地方創生の柱 に	都会に住んでいる年金生活の高齢者に移り住んでもらうのが、徳島の人口減を食い止める現実的な方策だと思う。年金生活なので、働く場所は必要なく、また、福祉関係で若者の雇用が創出され、さらに、徳島は都会より家賃が安いので、移住者にとってもメリットがあると思う。
6	目安箱	NHKジャー ナルを聞いて	徳島県神山町のITを活用した取組みは、地方創生に深く寄与するものであり、特に被災地の復興にも有効なものと思うので、この徳島県の取組みを地方再生モデルとして広め、推進していただきたい。

	提言先	項目	意見・提言の内容
7	目安箱	県民の誇りの回復と観光促進のために	<p>徳島は自動車であることを恥じず、全国にもっとアピールするべきではないか。</p> <p>眺望の雑木林などの手入れの徹底、最先端のおもてなしの取組み、駅弁、県産野菜などのフレッシュジュース、鳴門金時の焼き芋や、立ち食い徳島ラーメン屋等々観光に向けた取組みを促進して欲しい。</p>
8	目安箱	津波避難所の表示	<p>南海トラフ巨大地震の被害想定を受けて、県内にはたくさん津波避難所ができており、自宅近辺の避難所は把握しているが、通勤途中に地震がきたら、避難場所が分かりにくいいため、主要国道、県道に避難場所の表示があれば、いざというときに迅速に避難できると思う。</p>
9	わくわくトーク	移住者への情報発信	<p>徳島を移住や就農の候補地としたい人達に、眠ってる空き家や耕作放棄地の情報が届くシステムを県一丸でできれば、家や土地や町が蘇るのではないかと。</p>
10	知事・市町村長会議	米や地域の特産品の海外戦略等について	<p>昨年の米価は、農業の根幹を揺るがすほどの低迷であった。国の政策では飼料米、加工米への転換ということであるが、徳島の米はおいしいと思うので、飼料米とするのではなく、余った米を海外戦略として主に中国やシンガポールの富裕層へ販売できるように、市町村とともに取り組んでもらいたい。</p>
11	パブリックコメント(アイデア募集型)	小学生にタブレット端末を	<p>全国一の光ファイバー網をアピールし、徳島ならではの特色ある人材を育成するため、小学校で、一人一台のタブレット端末を採用してはどうか。</p>